

令和4年9月定例会一般質問

通告 6

質問 コロナ後遺症の周知と支援について

答弁 保健所と連携し適切に対応します

8番 江口 智子 議員

【質問：江口 智子 議員】

8番、江口智子でございます。コロナ後遺症の周知と支援について質問いたします。

長引く新型コロナウイルス感染症は、中標津町内においても感染者数が落ちつきを見せたと安堵する間もなく、たびたび爆発的な感染を引き起こし、発熱外来の受診者増に伴い、医療機関の診療体制はひっ迫しています。改めて、医療現場で対応している医師やスタッフの心労はいかばかりかと拝察いたします。



さて、現在主流となっているオミクロン株は、比較的症状は重症化しにくいものの、その感染力は極めて高く、また無症状や軽症であった人でも後遺症に悩まされる人が少なくないと報道されています。

オミクロン株の後遺症については、東京都の調査によると、従前の息切れや嗅覚・味覚障害は減少傾向であるのに対し、倦怠感や咳などの症状が増加し、後遺症があらわれる時期については、発症から1カ月以内が8割を超えているとのことでした。

私の周辺でも、この2月以降、感染した人は数十名に及び、中には後遺症を訴える人が複数おります。症状としては、倦怠感や咳といったものから耳の聞こえが悪くなった、頭重感など様々で、多くは社会生活に影響を与えるほどではないものの、何かしらの症状に悩まされており、中にはコロナ療養が明けて仕事に復帰し、体調が悪く本調子で仕事ができなかった時期に、職場から怠けているかのような対応をされたことが最もつらかったと訴える方もいました。

また、症状を言葉で説明できない幼児や小学生も多く感染していることから、周囲が後遺症に対する理解と対策を講じる必要があると考えます。

コロナワクチン接種による発熱や倦怠感などの副反応はよく知られており、接種後数日間の不調が理解されやすいように、コロナ後遺症についても広報紙等で周知を進め、

不幸にも感染し、その後後遺症に悩まされながら生活する方への理解を深め、支援をすべきであります。

さらに、町立中標津病院のホームページ、病院への手紙、令和4年4月分への返事には、時には寝たきりの生活になってしまうほど重度の後遺症状の一つに挙げられる、ME/CFS、筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群に関する意見に対し、専門性の高い内容であるため回答は差し控えさせていただきます。なお、医師を始め院内職員で情報を共有していることを申し添えますと欄外で回答されており、病院の圏内に重い後遺症を抱える方がいることをうかがわせます。

後遺症を発症するのは10人に1人とも言われていますが、この計算でいけば、町内にも後遺症を抱える人が相当数いると考えられることから、様々な後遺症の症状の紹介とともに、軽度なものについては町内で受診できる医療機関と、専門性を必要とするものに対しては相談窓口を紹介するなど、適切な医療に結びつけるための情報もあわせて発信すべきと考えますが、コロナ後遺症への周知と支援に対する町長の考えをお聞かせください。

【答弁：町長】

江口議員御質問のコロナ後遺症の周知と支援につきまして、御答弁申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、オミクロン株の置き換わりが進み、国内全域で感染が拡大しており、中標津町におきましても発熱外来受診者の増加などにより、医療現場はひっ迫している状況であります。

特に8月に入ってから急激に感染者が増加し、8月19日には過去最大の51人の陽性者が確認され、感染された方へ心からお見舞いを申し上げる次第でございます。

また、その御家族の方も、長期間の自宅待機により心労が絶えない状況であったというふうに思っております。

そのような状況の中、療養終了後も咳や息苦しさ、倦怠感などの症状が続き、感染前と同様な日常生活への復帰ができずに悩まれている方がいることも聞き及んでおります。

新型コロナウイルス感染による後遺症につきましては、一定の周知を図ることは必要かと考えますが、周知により感染した方が不安を覚え、心身の不調につながる恐れもあることから、慎重に判断をしていかなければならないところであります。

北海道のホームページには、療養終了後も続く症状についてとして、まずは最寄りの保健所へ御相談してくださいとなっておりますことから、その旨を町のホームページに

も掲載していきたいと考えております。

また、保健所では症状が長引いている場合や、重い症状が出ている場合には、掛かり付け医を受診するようにつなげており、町立中標津病院をはじめ、他の医療機関においても診察が受けられることになっております。

コロナ感染症と各症状との関係を結論づけることは非常に難しく、時間の経過とともに改善していくものと言われておりますが、後遺症に関する相談があった際には、中標津保健所と連携をとりながら適切に対応してまいりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。